

皆さんは栃木県が全国に誇る「自転車先進県」であることをご存知でしょうか。
今回は、「自転車先進県とちぎ」の魅力について様々な面からご紹介します。

サイクリストを惹きつける栃木県の強み

栃木県では、国際レースや国内最高峰のロードレースシリーズが多数開催され、通年にわたり県内各地でサイクリイベントが行われています。また、多くのサイクリストを惹きつける環境が「自転車先進県とちぎ」の魅力と実力を裏打ちしています。

【1. 豊富なレースの開催実績】

■ 国際自転車競技連合 (UCI) 公認レース

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| ① ジャパンカップサイクルロードレース
(宇都宮市・1992年～) | ② ツール・ド・とちぎ
(栃木県全域・2017年～) |
|--------------------------------------|-------------------------------|

■ 全日本実業団自転車競技連盟 (JBCF) 主催レース 2018年Jプロツアー ※全22戦中8戦開催

① 宇都宮クリテリウム(宇都宮市)	② 宇都宮ロードレース(宇都宮市)
③ 那須塩原クリテリウム(那須塩原市)	④ 那須ロードレース(那須町)
⑤ 大田原クリテリウム(大田原市)	⑥ やいた片岡ロードレース(矢板市)
⑦ チームタイムトライアルチャンピオンシップ(栃木市)	⑧ タイムトライアルチャンピオンシップ(栃木市)

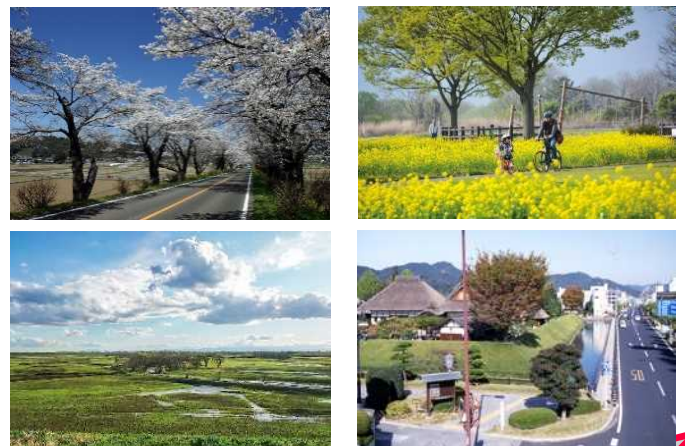
【2. 通年で開催されるサイクリイベント】 ※2019年度の主な予定

4月	・うつのみやサイクルピクニック(宇都宮市) ・咲くライド・さくら市(さくら市) ・鬼怒川温泉のんびりポタリング (日光市)	5月	・ツインリンクもてぎ7時間エンデューロ(茂木町) ・日光春ポタ(日光市)
7月	・那須高原ロングライド(那須町)	8月	・やいた八方ヶ原ヒルクライムレース(矢板市)
9月	・ツール・ド・NIKKO(日光市)	11月	・ツール・ド・おやま(小山市) ・温泉ライダーin喜連川温泉(さくら市)

【3. 栃木県の魅力的な環境】

栃木県では、魅力的なコース・集客に強いロケーションを最大の強みとしており、サイクリングを楽しむための環境が整っています。

自転車が走りやすい環境に加え、県内にはバイクラックを設置する店舗が多数あるなど、多くのサイクリストをおもてなしする準備ができておりますので、ぜひ栃木県にお越しください。



栃木県内で行われるトップクラスのレース

ここでは、前のページでご紹介した県内トップクラスのレースであるジャパンカップとJプロツアーについてご紹介します。

【ジャパンカップサイクルードレース】

栃木県を代表する自転車レースと言えば、毎年宇都宮市で開催されるジャパンカップです。ジャパンカップは、“ワンデー・レース”としてはアジアで唯一、国際自転車競技連合（UCI）から最上位カテゴリーのオークラス（Hors Class = 超級）の認定を受けており、県内・国内はもとよりアジアにおける自転車競技発展のけん引役を担っています。1992年に世界選手権自転車競技大会のメモリアルレースとして創設された本大会は、宇都宮市の森林公園を舞台とした難易度が高いコースで、世界トップクラスの選手が激しく競い合うシーンを間近で何度も観戦できるため、多くの自転車ファンを惹きつける魅力があります。



写真提供：ジャパンカップ実行委員会

【Jプロツアー】

「自転車先進県とちぎ」をレースの開催実績で裏打ちするのが県内で数多く開催されるJプロツアーです。Jプロツアーは、全日本実業団自転車競技連盟（JBCF）が主催する、全国各地を舞台とした国内最高峰のロードレースシリーズです。

2018シーズンは全22戦のうち8戦が栃木県を舞台に熱い戦いが繰り広げられ、開催地別では栃木県が最多となっています。また、チーム設立10年目という節目の年を迎えた宇都宮ブリッツェンが、全22戦中10勝を飾り、年間のチーム総合優勝に輝くなど、Jプロツアーを通じて栃木県の存在感を高めてくれました。



やいた片岡ロードレース（矢板市）



タイムトライアルチャンピオンシップ（栃木市）



大田原クリテリウム（大田原市）

生まれたレース環境を活かした「ツール・ド・とちぎ」の開催

「ツール・ド・とちぎ」が、栃木県内の全市町を舞台とする本州初の本格的ラインレースを取り入れた大会として実現できた背景には、地域住民や立哨ボランティア、行政や県警、協賛スポンサーの皆さまのご理解とご協力があったことに加え、県内各地で多くの自転車レース・イベントが開催されてきた栃木県の実績と環境が整っていたことが大きな要因です。

今後も、本県の生まれた環境を活かしながら、「ツール・ド・とちぎ」を通じて自転車競技の振興や栃木県全域の地域活性化に貢献できればと考えております。

現在、第3回大会に向け鋭意準備を進めております。引き続き、ご協力よろしくお願いたします。



ツール・ド・とちぎ実行委員会
会長
喜谷 辰夫

ツール・ド・とちぎ実行委員会では、第3回「ツール・ド・とちぎ」の開催（2019年3月22日（金）～24日（日））に向け、協賛スポンサー様・寄附者様を募集しております。

ご協力よろしくお願いたします。

お問い合わせ先：ツール・ド・とちぎ実行委員会事務局 電話：028-680-6860

今回は、サイクルードレースの楽しみ方についてお知らせしますので、ご期待ください。